

台風2号豪雨災害に伴う復旧について

1. 6月2日降水状況

| | | |
|--------------|----------|-------------------------|
| 1日降水量（24時間） | 186.5 mm | 6月としては観測史上最大雨量(1976/6～) |
| 9時から12時（4時間） | 96.5 mm | 午前中に激しい降雨 |

2. 被災箇所一覧（別添箇所図参照）

| | 河川・施設名 | 地区 | 被災延長 (m) | 備考 |
|---|--------------------|-----|-------------|---------|
| ① | 普通河川和田川 左岸 | 和田 | 22 | 国費・河 |
| ② | 普通河川和田川 左岸（①の直近上流） | 和田 | 7 | 単費 |
| ③ | 普通河川和田川 左岸 | 和田 | 4 | 単費 |
| ④ | 大池水路（2級河川住吉川右岸） | 野田 | 12 | 国費・農 |
| ⑤ | 準用河川見出川 右岸 | 小垣内 | 17 | 国費・河 |
| ⑥ | 準用河川見出川 左岸 | 小垣内 | 20 | 単費(委託費) |
| ⑦ | 普通河川見出川 左岸 | 小谷 | 7 | 国費・河 |
| ⑧ | 普通河川見出川 左岸 | 小谷 | 9 | 単費 |
| ⑨ | 普通河川見出川 右岸 | 高田 | 10 | 国費・河 |

※ 国補助率：河川災 66.7%、農林災 65.0%

※ 単独費災害については、単独災害債を活用 47.5%

※ 国補助金申請箇所

- ①,④,⑤,⑦,⑨の5箇所（①,⑤,⑦,⑨は、河川災、④は農林災）
- ⑥については、河川護岸の崩落箇所は一部分のみで、国補助金が確保することが困難であることに加え、法面が大きく崩落しているため、復旧工事については、工事期間中の安全性確保、復旧工法検討、隣接宅地との協議などが必要なことから、町単独で災害の起債を活用し、災害設計業務及び復旧工事に取り組むこととしたい。
- ②,③,⑧については、過去の災害で地山へのすり付けで設置した土のうの崩壊等であり、⑥と同様に町単独で災害の起債を活用し、復旧工事に取り組みこととしたい。

※ 復旧時期

- ⑥以外については、非出水期及び非灌漑期となる11月頃より現場着手を目指し、復旧工事の年度内完了を目標とする。
- ⑥については、業務委託を10月に発注し、業務の年度内完了を目標とする。

3. 被災直後の応急対応

被災直後の応急対応については、近隣住居への影響や、今後の降雨による増水の影響を検討し、崩落法面のブルーシート養生、流水阻害となる倒竹の撤去などの対応を実施した。

4. 専門技術者による緊急現場調査

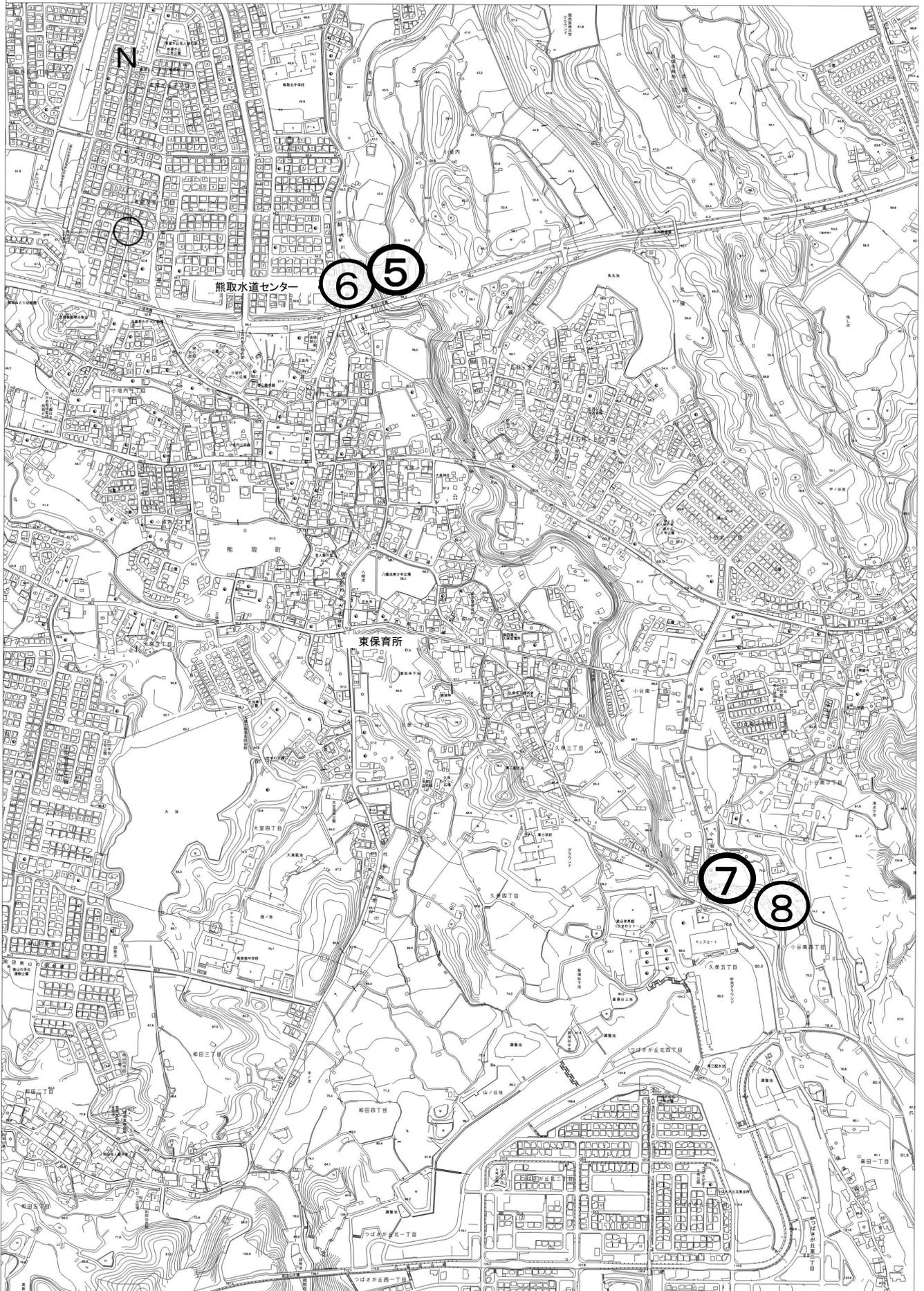
家屋が隣接する①⑥の2箇所については、「土砂災害等における連携協力に関する協定書」に基づき6月10日（土）一般財団法人地盤品質判定士会による現地調査を実施した。

調査により、地質、地形、造成、応急対応方法、今後の対応方針や注意点などの報告を受けた。

①流路を阻害している障害物の除去、左岸法肩部分の排水工整備、ブロック積基礎施工時の掘削方法

⑥流路を阻害している障害物の除去、法肩部分の排水工の整備、対策工法の検討設計の必要性

被災箇所図 2 / 3



被災箇所図 3 / 3

